

SSKS

VOL.136

# 結の実通信136号

特定非営利活動法人結の実

## ご挨拶

理事長 小林 輝彦

2024年度最初の通信となります。前回の通信ではホーム・まな開所20年を記念した特集号を発行いたしました。21年目を迎え、新たな気持ちで取り組んでいきたいと思えます。

年度が新しくなった4月初旬、入居者Nさんのお母様が亡くなられたという知らせが私のもとに届きました。今までホーム・まなを様々な機会にご支援いただいた方であり、突然な話しに大変驚きました。改めて、この場を借りてご冥福をお祈りしたいと思います。ちょうど20年特集号では、「次の20年は、『親亡きあと』の問題に本格的に取り組む時期かなと感じています。」とあるのですが、まさにそれを体現していくこととなりました。そこで、Nさんを支える支援をしていく中で感じたこと等少しお話ししたいと思います。

Nさんはホームで週7日生活しているものの、お仕事がお休みの日は日帰りで自宅へ帰ったり、年末年始は自宅で過ごしたりと、お母様と過ごす日々を大切に、楽しみにしていらっしゃいました。そのような中での急な環境の変化にも、Nさんは大きく戸惑う様子はなく、思っていたよりも落ち着いて日々を過ごしているように見えます。これは、数年前からお母様とよく話し合い、少しずつお

母様がしてきたことの引継ぎを受けていて（通院や余暇活動支援など）、自然とホーム主体での生活に切替えできていたからだと感じています。もちろんNさんなりにお母様の事を色々と考えて、現実を少しずつ受け入れているのだと思います。しかしながら、日常生活という点では、大きく環境が変わることなくNさんを支えることが出来ました。

また、今回の支援を通じて、障がい者グループホームは、入居者やご家族の人生に立ち会う仕事だということを改めて感じました。全ての引継ぎができていくわけではなく、不明なことを色々調べながら、Nさんが困っていることを解決していくプロセスの中で、お母様の生前大切にしてきた人間関係に触れる場面が何度かありました。皆さんお母様が亡くなったことを聞いてショックを受けると同時に、Nさんに「頑張っただね」と励ましの言葉をかけていたことが印象に残っています。その思いを我々も大切にしながら支援を続けていきたいと思っています。

年度初めということもあり、他にもあわただしい出来事が続き、忙しい年度スタートとなりましたが、先日無事に2024年度通常総会も終了しました。総会の報告は、事務局からのお知らせで扱うので、詳細はここでは触れません。開催方法に関してだけ皆様にご説明したいと思います。

新型コロナウイルスも感染症法の5類扱いとなりました。ホームにおける感染症対策も、以前に比べると柔軟になってきたと思います。しかしながら、今年度になってからも入居者や職員の感染、入居者が通所する施設の閉鎖など、影響が多く見られています。2024年度から、障がい者グループホームに対して「感染症の予防及びまん延の防止等の取組み」が義務付けられたこともあります。会員の皆様が顔を合わせての総会が今年度も開催できなかったことに関して、ご理解いただけたらありがたいです。

結の実は地域の障害がある人々や子どもたち、高齢者などに対して、必要とする福祉サービス等を提供し、社会的・経済的自立を支援するとともに、社会参加促進に関する事業を行い、障害の種類・程度に関わらず、すべての人々がゆたかに暮らせる地域社会づくりと福祉の増進に寄与することを目的としています。

### グループホーム運営方針

- ① 障がいの程度にかかわらず、入居者が健康で自立した生活が営めるように支援を行なう。
- ② 入居者の個性を理解し、それぞれの入居者が今まで営んできた生活環境を尊重した支援を行なう。
- ③ 入居者の人権を擁護し、就労や社会参加等充実した社会生活が送れるように、関係施設や地域と連携していく。

#### 法人沿革

- 1988年9月 課外グループ「生活ホーム結」設立
- 1991年4月 通所訓練の場「通所施設・結」開所
- 1994年7月 宿泊訓練「生活ホーム・結」開始
- 2001年9月 「特定非営利活動法人 結の実」認可
- 2004年4月 男性ホーム「ホーム・まな」を開所
- 2008年3月 女性ホーム「ホーム・ゆい」を開所

## ゆいの新たな入居者 Kさん について

2024年3月20日に、ゆいの新たな仲間として、Kさんが加わりました。年齢が30代とゆいの入居者の中では1番若く、とても明るい方です。今回の通信では、そんなKさんの紹介をしたいと思います。

Kさんは、今まで自宅でご家族と生活しており、グループホーム利用はゆいが初めてとなります。昨年の12月に行った体験宿泊では、Kさんはショートステイなどと似たようなお泊まり感覚もありました。なので、実際に入居となるとどんな様子となるのか、ご家族・スタッフともにドキドキとしていました。入居初日、Kさんはあっさり「バイバイ。」と手を振ってご家族を見送りし、マイペースにホームでの生活をスタートしていました。

Kさんは自閉スペクトラム症という障害特性を持っています。ゆいには、自閉スペクトラム症に関わったことがないスタッフが大勢いる現状です。なので、コミュニケーションや一つ一つの支援に対して、Kさんがどんな反応を示すのか、またKさんを困らせてしまわないか…不安も少しだけありました。しかしKさんは食事やお風呂、歯磨きに居室での1人の時間も穏やかに生活しておられます。

たまに眉毛をハの字（困っていたり、少し不安な状態に出るそうです）にされていることはありますが、笑顔を沢山見せてくれています。「〇〇しましょう。」と伝えるとにっこり笑って「はい。」と返事してくれます。特にお風呂に行く際は、パッと目を輝かせて「お風呂」と鼻歌を歌ってお風呂に向かいます。楽しそうに過ごす様子やKさんのスマイルにスタッフも自然と笑顔になっています。



それを感じてか、ゆいの他の入居者さんたちの（スタッフに対する）アピール合戦が始まりました。一生懸命話しかけたり、ジッとスタッフを見つめていたり、スタッフの腕を掴んで自分の方に引き寄せ離そうとしなかったり・・・皆さんアピールの方法は様々です。

週末は自宅に外泊されるので、金曜日に通所先から自宅に向かい、日曜日にゆいへ戻ります。ゆいの皆さん「Kさんはいつ帰ってくるの？」と興味津々です。Kさんにはお気に入りのパン屋さんがあります。ゆいに入居してからは、通所先からの帰り道パン屋さんでサンドイッチを買ってから自宅へ向かいます。そして土曜日の朝食に、買ったサンドイッチを食べるのが最近の楽しみになっているとお母さんが教えてくれました。

ゆいもお気に入りの場所となっているようで、ゆいに戻る際は「ゆい」と笑顔でおっしゃっているそうです。

Kさん、ゆいへようこそ。にぎやかなホームですが、楽しくゆっくりとすごしてくださいね。

8回目となる「紹介」ページですが、今回はホーム・まな非常勤職員の蛭田まゆみさんをお願いいたしました。蛭田さんは、週2日朝7時からの早番時間帯で勤務していただいています。

はじめまして ホーム・まなで働いております蛭田まゆみと申します。

朝7時からの勤務は決して早起きが得意な私ではないのですが、子供2人が独立し時間ができたこと、認知症の父親の介護、いどこに障がい者がおり私にも何かできることがあればと思い応募させていただきました。

実際勤務してみて、朝は送り出しには時間が決まっているため、確実に支援をこなさなければいけないので、研修の時期には私にできるのだろうか不安と緊張をしていたのを覚えています。今でも勤務の前日は緊張しております。なるべく22時には就寝し翌朝5時半には起床、朝ごはんをきっちり食べ、万全な気持ちで出勤を心がけております。入居者様の支援には自分の体調管理がすごく大事だと考えております。

男性のホームですので、同性介助の決まりで排泄・着替えの介助はできませんが、進行が重ならないように他のスタッフと声かけをしながら連携し、朝の準備を進行しております。イレギュラーな筈が起きた時など上手く対応ができず落ち込むこともあります。経験豊富で愛情豊かなスタッフに支えていただきながら気がついたら7年目に入っております。

プライベートでは親の介護もあり、なかなか自分の時間がありませんが、野球観戦、特に高校野球が大好きです。これから甲子園に向けて頑張る高校球児に気配り目配りを心がけ勤めさせていただきたいと思います。

これからもよろしくお願いいたします。

## 事務局からのお知らせ

- ☆ 2024年度通常総会が、2024年5月25日に開催されました。  
会員総数57名に対して出席者42名（当日出席6名、書面表決書36名）で総会は成立しました。  
総会では、以下の項目について討議が行われました。
  - ①結の実2023年度事業報告(案)、決算報告(案)
  - ②結の実2024年度事業計画(案)、収支予算(案)
  - ③結の実定款変更案（第14条第2項、第15条）討議の結果、全討議事項に関して、出席者の全会一致（議長1名を除く41名）で承認を受けることが出来ました。  
今年度の総会は、例年より1か月早い5月での開催でしたが、皆様のご協力のおかげで、無事に終了いたしました。皆様ありがとうございました。
- ☆ 2024年度第1回理事会が、2024年5月11日に開催されました。今理事会では、総会提出議案の承認及び給与規定改正案の承認等が行われました。
- ☆ 税理士による2023年度会計監査が、2024年4月30日に行われました。監査の結果、2023年度財務諸表及び関係帳簿等が適正に処理されていることが認められました。
- ☆ 2023年度内部監査が2024年5月6日に行われました。当日は、貞富監事、小林理事長、佐藤事務局長同席の下、業務監査及び会計監査が行われました。監査の結果適正な処理が行われていると認められましたが、事故やヒヤリハットの具体的改善策を構築することや防災の実践的対応ができる訓練を実施すること等の指摘を受けました。
- ☆ 事業計画にも記載されていますが、2024年度も結の実通信を年度内4回発行していく予定です。今年度も、様々な記事を通じて結の實の紹介をしていくつもりです。どうぞよろしく申し上げます。

特定非営利活動法人結の実の法人理念や事業運営方針の趣旨にご賛同いただき、ご支援して下さる方々の入会及び寄付をお願い申し上げます。

**年会費 2000円**

郵便振替口座 00110-2-355729

口座名義

特定非営利活動法人結の実

- \* 郵便振替用紙に、お名前・住所・電話番号・〇〇年度会費として、のご記入をお願いします。
- \* 入会時期に関わらず、会員資格は年度ごとの更新となります。

**寄付 3名** （2024年4月1日～2024年6月20日）

葛生禎子 成沢超子 丹羽政行

**2024年度 更新会員 38名** （2024年1月12日～2024年6月20日）

安達利恵子 石川薫 石川紀子 市村たづ子 入山公子 岩浅和美 岩浅義昭  
榎本節子 大西一一 大西元 大西常子 カトー保険事務所 葛生禎子 小島恵見  
貞富篤信 貞富加代子 貞富護 貞富久美子 貞富結菜 貞富和希 田島孝子  
成沢超子 難波英勝 難波雅英 難波道子 野本きみ子 橋本和子 廣瀬礼子  
藤田浩子 藤巻秀子 御園由美子 山本隆弘 山本剛 山本由美子 山本康博  
安田靖子 吉村光子 小林輝彦

**2024年度 新規会員 6名** （2024年1月11日～2024年6月20日）

青木毅 増田雅子 柳沼恵一 柳沼幸子 柳沼秀彦 Y. K

（順不同・敬称略）

☆ご支援まことにありがとうございました☆

結の実通信 136号

『編集』特定非営利活動法人結の実 事務局

〒194-0046 東京都町田市西成瀬 1-39-13

TEL/FAX : 042-725-8693

E-mail : [yuinomi@star.ocn.ne.jp](mailto:yuinomi@star.ocn.ne.jp)

ホームページ <https://yuinomi.org>

『発行』特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17 ヴェルドゥーラ祖師谷 102号室

TEL : 03-6277-9611 FAX : 03-6277-9555 定価 50円